



社会医療法人近森会

発行 ● 2012年5月25日

# びろっぱ 6

Vol.311

www.chikamori.com 〒780-8522 高知市大川筋一丁目1-16 tel.088-822-5231 fax.088-872-3059 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

## 4月16日「アルベータ北本町」開所

## 障害者の 就労の場として

社会福祉法人ファミリーユ高知  
ハビリテーリングセンター事務長  
松本 充夫



トレーニングルームで

の他一般企業の皆さまのご協力を得ながらできる限り個性を重視した職業実習を行なっております。

障害者雇用の現状として、2000年以降の障害者雇率未達成企業名の開示が引き金となり、大企業だけでなく障害者雇用者数は年々増加傾向です。最近では障害者の方と企業をマッチングさせ、一般就労をサポートするベンチャー企業も増えておりますので、今後も障害者雇用者数は好転するものと思われま

す。社会福祉法人ファミリーユ高知の全ての事業所は、障害者の方の一般就労はもちろん地域生活や社会参加についても、様々な外部機関と連携を取りながら自分らしい生活を送れるよう支援して行きます。

本誌をお読みいただいている皆様と共に仕事をする方が、ここから数多く卒業して行くように職員一同頑張りたいと思っています。 まつもと みつお

社会福祉法人「アルベータ北本町」外観  
ファミリーユ高知の障害者の一般就労を専門的に支援する、就労移行支援事業のサテライト事業所として、「アルベータ北本町」が4月16日に開所しました。



昨年4月より継続していた財務省高知財務事務所との「農林水産省高知農政事務所の跡地」の取得事務が今年1月に終了し、約3カ月間をかけ既存建物の改装を行い、稼働までに丸一年を要しての開所となりました。



Arbete(アルベータ)とはスウェーデン語で「仕事」を意味します。ま

さにこの事業所では、「仕事・働く事」を利用者の方と職員が常に意識しながら一般就労への支援を行なっています。

働くための技術的なことだけではなく、生活習慣の改善や社会人としてのマナーを身につけるための基礎的な支援から、施設内にある模擬事務所を使った事務作業全般の支援や、敷地内にある駐車場での管理業務の実習、そ

## 6月の歳時記

絵・総務課広報担当  
公文幸子

### 紫陽花

総務部総務課  
岡崎 千沙



6月といえば梅雨、梅雨といえば紫陽花。小さい頃は憂鬱な季節のパツとしない花だと思っていましたが、毎年、家の庭を始め小学校の通学路、街路樹で紫陽花が咲き、また6月生まれなので今は何となく紫陽花が好きになりました。春野町の四国霊場三十四番札所種間寺近くの用水路沿い



は紫陽花が植樹されていますが、また梅雨の晴れ間を狙って見に行きたいと思っています。 おかざき ちさ

上は企業実習での清掃中、  
下は駐車場の清算をして  
いるところ



# — 心筋梗塞 —

近森病院循環器科主任部長  
川井 和哉



メタボ、高血圧、糖尿病、コレステロール、喫煙、加齢などが原因で、心臓を栄養する冠動脈に動脈硬化が進行してきます。血管壁にコレステロールなどが沈着し（粥腫）、血管内腔が狭くなってきます。あるとき粥腫の一部が破綻すると急速に血栓ができて血流が途絶するため、その先の心筋が壊死してしまいます。心筋梗塞の発症です。死亡率は30～40%と高く、その半数以上は病院到着前に死亡すると言われています。心室細動という不整脈（心筋細胞がばらばらに収縮する）、梗塞部が破れる心破裂、心臓のポンプ機能の低下による心不全などの合併症で、

以前は入院患者の20～30%が死亡していました。

ここ30年の医学の進歩は著しく、①薬物治療による発症の予防、②CCUでのモニタリングや集中治療による急性期合併症や死亡率の低下、③一般市民による心肺蘇生やAED普及による院外心停止の蘇生率の改善、④閉塞した血管を早期再開通させ壊死範囲を縮小させる再灌流療法の確立などにより、院内死亡率は7.8%に減少してきました。

冠動脈が閉塞し6～12時間で壊死は完成するといわれており、いかに早く冠動脈を再開通させるかが重要で

す。1990年代は血栓溶解薬の静脈内や冠動脈内投与が行われていたましたが、現在はカテーテルで直接血管を造影し閉塞部を確認後、血栓吸引やバルーン拡張により血流を回復させ狭窄部にステントを留置する方法が一般的です。当院の初期成功率は98%と高く、受診からバルーン拡張までの時間も74分と（指針推奨は90分未満）全国トップクラスの成績でした。

2011年に当院に入院し、カテーテル治療ができた初発心筋梗塞患者の死亡率は2%でした。早く治療できれば心筋梗塞を起こさない方もいます。20年前CCUに泊まり込み、種々の薬を微調整し、何とか急性期を乗り切れるように祈りながら治療していたことを思うと隔世の感があります。

もちろん発症予防が重要です。しかし、一旦発症すると重篤な疾患であることは現在も変わりありません。心筋梗塞の危険因子を持っている方は、早期治療が受けられるよう胸痛時には救急受診してください。

かわい かずや

## 「乞！熱烈応援」

### 少年易老

近森病院心臓血管外科科長

手嶋 英樹



14年目、相変わらず博多弁丸出しで、体型不変です。

今回、今まで経験したことがない科長という新たな活躍の場を与えられました（皆さんのおかげです）。

粉骨砕身、不撓不屈の精神で日々精進したいと思っています。従来の目標の地域ナンバーワンチーム医療の他に、今年は医療安全全国共同行動PARTNERSをMottoとしています。いつでもお声かけください。

てしま ひでき

最近マスコミで解剖の必要性がとりあげられるようになり、その実施を促進するため、死因究明2法案が今国会中に提出されるようになったことが報道されていました。この際の解剖は亡くなられた方の死因に犯罪性が疑われる場合に行われる法医学解剖です。

ヒトの解剖にはこの法医学解剖と大都市での行政解剖、医学部や歯学部の学生が解剖学を学ばせて頂く系統解剖と病理解剖があります。病理解剖（剖検）は、患者さんが入院中、不幸にして亡くなられた場合に、病気の原因、直接死因、病態や治療効果、さらに診療の妥当性などについて、臓器や組織を直接観察することにより、最終的に、より明らかにすることを目的として、ご遺族のご承諾を得て行われます。ある国内調査（1996）によれば、診療体制が整備されている大学病院などの大病院であっても、通常の臨床診断と病理解剖診断との間に、なお11.7%の不一致が報告されています。

日本病理学会では、全国で行われた病理解剖の結果を昭和33年（1958）から、年毎に「剖検輯報」として刊行し、解剖数は当初年間約1万余例でしたが、以後漸増し、昭和60年には4万余例となりました。しかし、その後減少に転じ、平

成19年（2007）には昭和60年度の41%迄に減少しました。（昭和33年～平成19年までの49年間で、130万余人の方が解剖され、その膨大なデータは医学や医療に有効に活用されています。当院では昭和48年～現在まで296例）

一方最近では、死後、CTやMRIによる画像診断（autopsy imaging, Ai）の病院

での実施率が次第に上昇しています。Aiは全身の画像診断、病変の局在部位や大きさ、その広がりなどの観察には優れていますが、最終の質的診断は困難であり、最近（2012 英国）成人の病死例で、Aiと病理解剖結果との間に「大きな相違」が30%あったことが報告されています。

病理解剖科部長  
えんざん ひであき  
円山 英昭

## — 私の流儀 — 4回

### 解剖 — 「Ai-病理解剖-CPC」



すなわち病理解剖の目的を十分に果たすためには、ご遺族のご承諾の下に、まずAiを実施し、全身を画像上でスクリーニングした後解剖を行わせていただき、その結果をもとに、ご生前に診療を担当した主治医を中心とした臨床スタッフとの合同症例検討会（臨床・病理検討会 clinico-pathological conference, CPC）を実施し、この連続した検討結果を最終報告として、確定することがもっとも望ましい。

先日ご遺族から、解剖結果についてお尋ねがあり、今後とも迅速な御報告が出来るように病理医としての責務を果たしたいと考えます。

## 「日本笑い学会四国支部第 43 回研究会」

「笑い与健康」  
を考える機会に近森オルソリハビリテーション病院  
6階病棟看護師 池永 利江

3月20日、管理棟3階で「日本笑い学会四国支部第43回研究会」を開催しました。

「日本笑い学会」は、「笑いの総合的研究」と「笑いの文化の発展」に寄与することを目的とする学術集団で、学



高知出身のプロマジシャン・トリットさん 落語を交え講演していただいた枝廣院長

会員は、大学教員、医師、看護師、歯科医師など多岐に渡っています。

前半は、四国中央市豊岡台病院長の枝廣篤昌医師に『笑い与健康』をテーマに、落語を交えながらの講演を、後半に高知出身のプロマジシャン・トリットさんにユーモアたっぷりのステージマジックを披露していただきました。

当日は医療関係者、医療機関通院者、一般人、保育園児から後期高齢者世代を含め50人のご参加があり、ほぼ全員が大笑いし、「笑い与健康」について考える機会を得て、ご満足いただきました。

ご参加下さった皆さんをはじめスタッフの皆さん、ほんとうにありがとうございました。

いけなが としえ

## 看護部 キラリと光る看護 part2

「患者さんを地域に返す」  
取り組み近森会統括看護部長  
梶原 和歌

高知駅の真ん前に近森会が躍り出てきたような景観に変わりつつあるが、もともと駅に最も近い建物は元「分院」で、今も高知メンタルリハビリテーションセンターとして運営されている。その4～5階に精神障害者生活訓練施設看護寮まち（定員22名）があった。

施設長の杉村多代さんらスタッフは、開設から13年間、今年4月までコツコツと自立の可能性を信じて、本人が納得する暮らしぶりの支援を一緒に探りつづけてきた。17歳から67歳までの利用者延べ148名中84%がアパートやグループホーム、自宅などで地域生活ができているという好成績である。

アンケートで「自分の理解とコミュニケーションがたいへんだったが、頑張ったこととか自分の人生を自分で歩むようになった」と記している結果をみて、凄いと感じた。自分に直面化できておらず、周囲が問題を感じている人も病識なく社会生活を送っている人が多い。現実認識のずれや内面化のプロセスをたどっていく手法を看護寮や精神科治療チームからもっと専門的に学びたいものである。「アドヴァイス」「教育」「管理」といった枠をもちながらその無力さを念頭において、「その人に添う」とは何かを教えてほしいと思う。

それにしてもこの元「近森病院分院」は1970年代にPTやSTを置いて専門的リハビリを開始し、時を経て日本の回復期リハビリテーション病棟発祥

の根の役割を担い、老人保健施設高知県第一号もここでスタートし、血液透析もここから始まり腎代謝センターとなり、在宅生活を支える腹膜透析やデイサービスに拡がっている。「患者さんを地域に返す」取り組みの発祥地の観があることから、新しいリカバリーやアウトリーチが進化することを願っている。

かじはら わか

## 父の後ろ姿



近森 正幸

近森病院のチーム医療が全国的に注目され、医療雑誌の取材だけでなく、見学の申し込みや講演会に呼んでいただく機会も多くなった。最近、インターネット上の番組で「高知の社長」というタイトルのちょっと視点の変わった取材を受けた。創業のいきさつや事業継承の経緯、経験や学び、今後のビジョンを発信して、地域の活性化を図りたいという主旨であった。

その取材がきっかけで、改めて創業者のことを考えさせられた。半世紀も前は、入院して夜には町にお酒を飲みに行くような患者も少なくなかった。父は「もっと真っ当な医療をしたい」

と早い時期から救急に取り組み、毎日のように病院の屋根裏部屋に泊まり込んでいた。私が小学校5、6年生ぐらいのとき、父に会いたくて病院にいったとき、夜、薄暗い灯かりの下で紅茶を飲みながら本を読んでいる父親の後ろ姿をみて、子ども心に切ない思いをしたことを今でも憶えている。

いま思えば、当時は医者も少なければ准看さんばかりであった。薬も医療材料も乏しいそんななかで、真っ当な医療をしたいと病院に泊まり込んで頑張っていた父の姿が、医師としてだけでなく、自分の生き方そのものに大きな影響を与えた。

父はこれといった財産もなく住まいも粗末だった。父が死んだとき病院に投資するばかりで後には何も残っていなかった。言葉の少ない父であったが、そんな生き方が私に受け継がれ、それがいま近森の企業風土となっている。

真っ当な医療をしようとするれば、いい先生方やスタッフが集まってくれる。一風変わった取材を受けたことをきっかけに、久々に父のことを思い出した。 理事長・ちかもり まさゆき

## Angioplasty Summit TCTAP (Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asia Pacific) 2012 に参加して

### 学会に参加することで 得られること

近森病院循環器科  
荒井 梯子



昨年に続き山本哲史科長と一緒に Angioplasty Summit TCTAP (Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asia Pacific) 2012 に参加させていただき、2 演題発表してきました。

「Retrograde Coronary Dissection of Right Coronary Artery Intervention (同循

環器科科長山本哲史)」「Dislocation of the Express LDstent Placed in the Ostium of CIA During EVT of the Left CIA Occlusion (荒井)」

本学会は毎年韓国ソウルで開催され、アメリカ、韓国、日本、東南アジア、東アジアなどたくさんの国からの参加者

があります。

症例報告の session は case competition 形式となっており、そのなかで発表してきました。

小さな会場ではありますが、かなり活発に質問や意見が飛び交っておりました。荒井、山本ともに二度目の発表になりますが、熱く議論を交わす各国の先生方から刺激を受けながら、なんとか無事に発表を終えることができました。

海外での学会に参加することで、得るものや感じることは非常に大きく、これからは積極的に参加し、近森病院での経験を海外に発信していきたいと感じました。

あらい ていこ

私の趣味

ドライブ

近森リハビリテーション病院  
医療相談室ソーシャルワーカー

和田 浩香

### 院外エッセイ

## 人と人をつなぐ役割



依光 亜由美

よりみつ あゆみ  
高知県農業協同組合中央会総務企画部勤務。  
広報、企画などを担当。  
JA グループ高知情報誌の副編集長

私は農業協同組合 (JA) で働いています。高知の農畜産物が豊かに育ち、消費者の皆さまのお手元に届くことがいちばんの願いです。そして、食を通じて農を伝え、地域全体が豊かになり、地域の文化が作られていくことが希望です。

JA グループ高知では農産物、レシピ、加工品、地元レストランなど、地産地消に関する無料の情報誌を年 4 回発行しています。この情報誌に寄せられた約 1 万 3 千通の返信の意見欄は「農産物や生産者のことが知りたい」「農家のレシピを教えて欲しい」「農に触れたい」の 3 項目で 50% を占めます。地元産品を消費するだけでは満足せず、生産者より深い交流を行なうことにより豊かな食生活を送りたいと望む多くの消費者がいることに気づきます。子育て世代からは、食農教育をしたいという声が多く寄せられます。

JA グループでも子どもから中年まで幅広い年代を対象にした体験事業など、農業に触れ合う機会を提供していますし、農家も膨大な数のレシピ

を使った料理教室も開いています。

しかし、一方では「それはどこで買えますか」「どこで、体験できますか」といった多くの声があることも事実です。残念ながら、こういった様々な情報が提供され、有機的に繋がっている状況とはいえません。この情報誌が人と人をつなぐツールになればとの思いで誌面づくりに取り組んでいます

今年は JA や協同組合で働く仲間にとって、記念すべき一年になりそうです。と言いますのは、国連が今年を「国際協同組合年」と定め、協同組合の意義と役割を再認識するための取り組みが行われるからです。あらためて昔から日本の村落社会に根付いてきた「助け合い」の精神を見直す機会としたいものです。

県内では生協や、漁協、森林組合と JA が中心になり多くの協同組合の仲間や地域の方にご参加いただけるイベントを計画しています。今後とも「人と人をつなぐ」役割を果たせたらと思います。



携帯電話で撮影したコスモス畑



趣味はと聞かれると、これ！というものがないのですが……、暖かくなってきたこの季節、車でドライブに出かけたくありませんか？ 私は、天気の良い日に好きな音楽を聞きながら、ぶらりと出かけています。行き当たりばったりで、道に迷ってしまうときもありますが、季節を楽しむことができたり、知らないものを見つけることができたりと、新しい発見があるのが楽しいです。

出かけた先では、桜や花、海や空、夜景などなど、デジカメや携帯電話で気に入った風景を撮影しています。最近では、友人と一緒にドライブがてらランチに出かけることが多くなりました。

おしゃれなカフェやお店を探していますが、見つけるのはなかなか難しいです。新しいお店を開拓途中ですので、ぜひおいしいお店があれば教えてください。今後はちょっと遠出して、もっと色々な場所に出かけていきたいと思っています。

わだ ひろか



# MRI の引っ越し



4月22日。雨模様のなか、本館一階から新館一階へ引っ越しました。

- ①本館の一階のコンクリートの壁は、やがて来るMRIの引っ越しの日を待つように、まず大きな四角い穴が空けられました。ここをMRIの四角い巨体が通ります。高橋宏幸技師長
- ②MRIは磁器なので解体できません。総重量7トン！アフリカ象一頭に匹敵する重さになります。（※写真はイメージ）
- ③建設中の管理棟別館の中を通り、川を渡りました。
- ④プロの作業員の手によって新たなステージへ！5月、稼働中！



本館南側に四角い穴が！



MRIはアフリカ象一頭に匹敵する総重量7トン



無事新館の新居へ



川を越え

## 桜マラソン

近森病院内科科長 市川 博源

## ディスプレイエプロンができました。

4月16日より、社会福祉法人ファミリー高知サービスセンターウェブで作成している使い捨てエプロンが近森病院で運用を開始されました。



召し上がれ！  
Bon appétit!!  
ボナベティ



制作中



完成



左が筆者

4月1日（日）に第四回四万十川桜マラソンに循環器内科の要致嘉科長と参加してきました。今回は二人とも年齢とほぼ同じ距離の42.195kmのフルマラソンなので、数日前からやや緊張気味でした。そして、やや肌寒いなか旧窪川町をスタートし、旧大正町、旧十和村を駆け抜けました。

途中、川沿いの桜並木あり、沈下橋ありの景色のいいコースを楽しみ（?）、苦しみ（?）ながら走り、二人とも完走することができました。沿道の方の応援がすばらしく、くじけそうな気持ちを何回も救っていただきました。

その後1週間は筋肉痛と風邪に悩まされましたが、要先生とともに来年も参加することを誓い合いました。来年は第1回龍馬マラソンも予定されており、マラソンブームはしばらく続きそうです。皆さんもどうですか？

いちかわ ひろもと

## 職●員●旅●行

今回はイタリアのフィレンツェとピサ、ベネチア、そして石垣島と竹富島。平成23年度の旅行も終わり、まもなく今年の職員旅行が始まります。お楽しみに。



石垣島での釣りツアー



ドゥオモサンタマリア・デル・フィオーレ教会



フィレンツェの街角で



竹富島の水牛車

# Karibu Tanzania!

発行者 村上 野志夫 (青年海外協力隊 平成 22 年度 3 次隊 理学療法士)  
yashio310@gmail.com

## INDEX

- 1) 今月の一枚
- 2) クリスマスと新年
- 3) 活動と中間報告会
- 4) 今月のスワヒリ語 ~数字
- 5) NINAFIKIRI HIVYO ~最近思うこと~

### 今月の一枚 ドドマの初日の出

2011 年は日本が未曾有の災害の年でした。いまだに傷跡は深く、街の復興、人々の心の

復興には程遠いものがあると思います。亡くなられた方々の冥福を祈るとともに、日本で起きた大変な状況を、しっかり心に留めながら活動していきたいと思



ライオンロックからの初日の出

さて、ここタンザニアでも 2012 年がやってきました。年末年始、何か変わったことは……。やっぱりタンザニアで迎



ライオンロック

える初めてのクリスマスと新年でしょうか。そして私のタンザニア生活も 2 年目に突入しました。

写真はドドマの町が一望できるライオンロックにドドマの協

力隊員たちと初日の出を見に行った時の一枚です。普段は地元の子供たちが遊んでいるこの岩山。新年だけに、初日の出を見に来た人たちでごった返していることもなく私たちだけでした。どうもタンザニアでは初日の出を見る習慣はあまりないようです。ともあれ、タンザニアで見る初日の出は、活動一年の節目もあり、なかなか感慨深いものがありました。

### タンザニアのクリスマスと新年

タンザニアの宗教はキリスト教とイスラム教と伝統宗教です。祝日はキリスト教とイスラム教の伝統、そしてタンザニアの伝統行事などで決まっています。そのためクリスマスは 25 日の Christmas day、26 日の Boxing day (クリスマスのプレゼント、ボックスを開けるという意味らしい)



ピラウ

が祝日、新年は 1 日の New year day が祝日です。ここ南半球のタンザニアは今が夏のため、暑い年末年始です。そんなタンザニアも 12 月になると町の中は、一応クリスマ



◀新年にはひとつの大皿を囲んでピラウを食べる  
▼おめかしをして何度も撮影



クリスマスの記念撮影

スの装いがあります。クリスマスカードやツリーが売っていますし、クリスマス音楽も少し流れています。地元の人たちも心なしか、なんだかウキウキしているように見えます。



理学療法に通ってくる患者さんも少し減ります。そんなクリスマス&新年の祝いに、タンザニア人の友達に誘われて行ってきました、お宅を訪問。どんなイベントやプレゼント、料理が食べられるのか。さてさて……。

まずクリスマス、今回はクリスマスが日曜日だったので、午前中は友人と教会に行きました。その後友人宅に招かれて、ごちそうを食べます。ごちそうは、ピラウ！ピラウとはシナモンやニンニク、その他の香辛料がたくさん入った炊き込みご飯です。ルーツは中近東ようですが、タンザニアでは誕生日や祝日に食べるごちそうです。また鶏をさばいたり、ヤギをさばいたりして、いつもよりも豪華な食事ができます。イベントは写真撮影大会！いつもよりオシャレをして写真を撮ります。プレゼントは無かったですね。これは家庭によって違うのか、プレゼントを交換する習慣はあまり定着してなさそうでした。

そして新年、ごちそうはピラウを食べます。イベントは特になく、地方に行っている家族が戻ってきたり、近所の友人たちが遊びに来たりして、大勢でにぎやかに過ごします。プレゼントも特にありませんでした。印象は普段の休日よりも少し皆がウキウキしているかなという感じです。そういえば新年を迎えたときはドドマの町中で花火が打ちあがりました。



クリスマスの飾り付けの店

そして 2 日からは仕事に……。三が日はもちろんあ



りません。至って普通に思える年末年始。日本の忘年会、クリスマス、年末、正月、新年会に慣れていた自分には、少し物足りないような感じがしました。そんな年末年始についてタンザニア人の友達にクリスマスと新年とどっちが大事なと尋ねると、「どっちも大事だよ、日本ではどうなんだい?」と言われました。改めて考えてみると、イベントは少し

違うけど、家族と過ごすこと、節目を大切に感じる感覚や心の部分は日本もタンザニアもそこまで大きく変わりはない



いのかと気づかされました。

### 活動と中間報告会

私の活動は外来、入院患者さんへの理学療法の提供が主です。また同僚との知識の共有や、業務内容の改善を行っていくことも目的の一つです。この一年は自分が仕事に慣れること、患者さんとしっかりコミュニケーションを取ることを目標にやってきました。医療事情や生活状況の違うこの国では、マンパワーとして働くこともなかなか難しいと感じることが多かったように思います。スワヒリ語に慣れてきたことと、タンザニアの医療・生活状況（これについては別の機会に紹介したいと思います）について少しずつ分かってきたこともあってか、最近はややく活動に慣れてきたように感じています。

去る12月にはJICAタンザニア事務所にて、僕たち平成22年度3次隊の



中間報告会がありました。一年の活動を振り返り、今後の活動について話し合いました。皆それぞれの悩みがあり、その中でも色々な工夫をして、

頑張っている状況が分かり、大いに刺激を受けました。また自分の活動を客観的に見直す良い機会となりました。

### 今月のスワヒリ語 ～ 数字

1 : Moja (モジャ) 2 : Mbili (ビリ) 3 : Tatu (タトゥ)  
4 : Nne (ンネ) 5 : Tano (タノ) 6 : Sita (スイタ)  
7 : Saba (サバ) 8 : Nane (ナネ) 9 : Tisa (ティサ)  
10 : Kumi (クミ) 11 : Kumi na moja (クミ ナ モジャ)  
12 : Kumi na mbili (クミ ナ ビリ)  
20 : Ishirini (イシリニ)

11以降の数字は10の位にandの意味の「na」を入れて、1-9の数字を足せばOKです。この数字、私は仕事中にはよく使います。「～さん足を伸ばしますよ。はい10回」、「モジャ～ビリ～タトゥ～」、患者さんも一緒に数えてくれます。こういったことは日本とタンザニアのリハビリも一緒ですね。

### NINAFIKIRI HIVYO ～最近思うこと～

タンザニアに来て一年が経ちました。そして、残り任期の一年が短いと感じることで、現状を楽しめている自分に気がつきます。今まではとにかく何かをしようと手さぐりで頑張ってきましたが、これからの一年はこれまでの経験があり、一年前とはスタートラインが違います。今後は活動内容の更なる充実を図るとともに、同僚との共同での業務改善を行っていきたいと思っています。あと一年、精いっぱい頑張ります！



▲去る12月にJICAタンザニア事務所で行われた中間報告会



## 第 96 回地域医療講演会 ● クリニカルパス特別講演会

# クリニカルパス 特別講演会を開催

座長として、金沢赤十字病院副院長 西村元一先生 / 講師として、若草第一病院院長 山中英治先生 / 北美原クリニック理事長 岡田晋吾先生 / 黒部市民病院整形外科部長 今田光一先生をお迎えして

クリニカルパス委員会事務局  
総務課広報担当主任 鍵本 由紀

4月21日(土曜)に、金沢からはるばる飛行機でご参加いただいた座長の西村先生をはじめ、学会でさえ集まる機会の持てないような豪華講師陣!! による特別講演会を開催いたしました。

山中先生からはチーム医療にはパスが有効であり、「私の仕事ではありません」→「その仕事は私にさせてください」が専門性を発揮できるスキルミックスの原点だと学びました。

岡田先生からは在宅でのPEG、褥瘡管理について、病院、患者と家族、連携先(地域の医師、訪問看護、ケアマネ、介護スタッフ等)が、継続的な連携と知識を共有することの大切さを教えていただきました。今田先生からはパス委員だけが先行しない、部署のみんなでパスを作成、分析、継続していく現実的なコツを教わりました。

また、第二部意見交換会で出た、院内パス活動活性化へのヒントを今後の委員会活動に役立てたいと思います。ユーモアに包むことによって医療者にとって忘れがちなものを、より鮮明に感じ取ることができました。笑い声の聞こえる面白く楽しい講演会となりました。開催にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

かぎもと ゆき



今田先生



岡田先生



山中先生



座長の西村先生

よき友くすし

23

## ヘリコバクター・ピロリ除菌療法



近森リハビリテーション病院  
薬剤部薬剤師 福田 香穂

みなさんピロリ菌の正体を御存じですか?ピロリ菌は胃内に生息する、胃炎や胃潰瘍を引き起こす原因の一つとなる細菌です。

一般的な除菌方法は「胃酸の分泌を抑える薬」と2種類の「抗生物質」、合計3種類の薬の併用です。これらを1週間服用することで70%近くは除菌に成功すると報告されています。除

菌に成功すると、潰瘍の再発が抑えられたり、維持療法(潰瘍が治った後も、再発予防のために薬を飲み続けること)が必要なくなるなどのメリットがあります。ただし、除菌治療は中途半端で止めたりすると、ピロリ菌が薬に対して耐性をもち、次に除菌しようと思っても効かなくなる場合がありますので、必ず医師の指示通りに薬を飲むことが大切です。最近よく使用される3種類の薬が1日分ごとにパックされた製品は、飲み抜かりのないよう工夫されています。

しかし、これらの薬の服用で下痢・軟便・味覚異常などの副作用が生じる場合があります。ひどい場合はすぐに医師又は薬剤師に相談しましょう。

ふくだ かほ

## お弁当拝見 3



### 母の「旬のお弁当」

近森病院臨床検査部  
臨床検査技師  
千頭 祐一



小さい頃から母がお弁当を作ってくれますが、自分では作ったことが無く、お弁当を作る苦勞を知らずに過ごしてきました。しかし就職してから、お昼に先輩方に「すごいねえ〜、お弁当作るの大変ながでえ〜」、といわれ、毎朝早くからお弁当を作ってくれる母の苦勞を少しずつ感じ始めました。母に原稿依頼を受けたと伝えると、嬉しそ

うに次の文章を書いてくれました。「今旬の筍の煮物、イタダリのきんぴら、鶏の照焼き弁当を作ってみました。上手に出来ないことが多いですが、好き嫌もなく食べてくれることは助かります。彩りに気をつけているのですが、地味な色あいのお弁当になってしまいます。職場の皆さんとお弁当を食べてくれることはうれしいです。お

弁当箱もいつも洗って返してくれま

す。先輩方の教えがあつてこそと思います。いつもありがとうございます」

父や母に心配ばかりかけていますが、出来る限り恩返しをしようと思

います。いつもありがとう!

ちかみ ゆういち

## どう動く、これからの 精神科医療

看護部看護師長（元援護寮まち施設長）  
杉村 多代



講演中の日本精神科看護技術協会  
専務理事の仲野栄氏

4月20日、日本精神科看護技術協会の専務理事である当院出身の仲野栄氏を迎えて、この3月で13年の歴史

を閉じた精神障害者生活訓練施設「援護寮まち」の来し方と精神科医療の行く末について話していただいた。

### 近森会健康保険組合



近森会健康保険組合  
事務局長 田村 裕彦

## 健康づくり教室の開催

健保組合の実施する平成24年度の新たな事業はいくつかありますが、そのなかでも職員の皆さんから多くのご要望をいただいたのが、今回紹介する健康づくり教室の開催です。

これは組合の事業計画にある「被保険者の健康維持、増進を図るための体育奨励事業」を予算化したもので、計画とニーズがうまくマッチした例だと思えます。

講師にはBODY PRO.の健康運動指導士である安岡知洋氏を迎え、週1回午後6時から1時間程度の運動を行っています。組合でヨガマットも準備していますので皆さんは手ぶらで参加可能です。但し水分は各自で持参してください。



▲人気急上昇のピラティス



◀テレビでお馴染みの安岡知洋先生

開催案内はサイボウズの掲示板に載せています。当面は混雑気味でご不便をおかけしますが、仕事帰りに運動でひと汗かいて心身ともにリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。参加費は無料です。

たむら ひろひこ

「まち」は「入院医療中心から地域生活中心へ」の先駆けだったが、開設当時からは考えられないほど地域移行・地域定着が進んでいたことを再確認した。今後入院に関しては必要に応じて機能分化がやっと思われる兆しであり、地域支援を担う者は出来る限り入院を防止しつつ適切な支援を行い、精神科医療を担う者は外来での支援が益々重要となる。

いずれにしても支援者の質が問われるため、今後も自らの質の向上を高める努力をしていきたいと感じた会であった。

すぎむら たよ

### リレーエッセイ

## ある春の一日

近森病院地域医療連携室  
医事課 小崎 菜緒美



4月のある晴れた日曜日、仁淀川町（旧吾川村）の祖父母の家に両親と息子と姉、甥や姪たちと遊びに行きました。

お墓参りをして、筍を掘りに行く目的もあり、子供たちは気合が入ってましたが、私の祖父がすでに筍を掘っていて、皆少し残念な様子でした。かわりに椎茸採りへ。雨が少なかつたようで、椎茸の数はいつもよりは少なかつたです。

そして次はY字形の木の枝にゴムを張り、その弾力で小石などを飛ばす『ゴム銃』を作るため、息子と甥は祖父に作り方を教えてもらい、なんとかゴム銃は完成しました。甥が「よし、これで亥を倒しに行こう!」と気合十分で山奥へ行こうとしましたが、



皆に無理だと止められました。そして次は竹を細く切り、針金で繋げて、弓矢を作って遊んだり、竹を切って水差しを作ったりと、子供たちは思い思いの物を作って遊びました。普段は、あまり体験できないこともあり、のこぎりで少し指を切ったりもしましたが、遊ぶ道具を自分で作るという体験が、子供たちには新鮮でとても満足した一日だったと思います。

帰りの車では、疲れきった甥は、よだれを私の袋に大量に垂れ流し眠っていました。今度は茶摘みを手伝いに祖父母の家に行きます。その時はまた、山の自然と一緒に遊びたいと思います。

こさき なおみ

ハッスル研修医 2012

みんな happy  
になれるよう

初期臨床研修医  
宮本 由賀



現在消化器内科にて研修しております初期臨床研修医1年目です。「生まれたてのヒナを育てるように」という栄枝先生のお言葉通り、指導医の先生方始めメディカルスタッフの方々にはあたたかく見え守っていただき、ヨチヨチ歩きではありますが日々前進しています。

先生方やメディカルスタッフの方々のpassionには日々驚かされ、患者さんもhappy、周りもhappy、自分もhappyと、みんながhappyになれるような環境で医師としてのスタートを切れたことを本当に幸せに感じています。

近森病院では入院患者さん、ER外来の患者さんと、多くの患者さんを診させていただけます。急性期病院で入院の回転も早く、担当させていただく症例数も多いですが、常に患者さんは「一対一」の存在であることを忘れず、真摯に患者さんのhappyを追求していきたいと思えます。

まだまだ危なっかしい足取りかと思えますが、多くのことを吸収し、忙しさのなかにも楽しく成長していきたいと思えますので、これからも熱いご指導宜しくお願いします！

みやもと ゆか



御礼。献血へのご協力



5月22日(火)に開催しました新入職員献血キャンペーンでは、新入職員を含め96名の方々にご協力いただきました。

私はこのたび近森病院へ就職し、救命救急医療における輸血療法の重要性を血液センター在職時以上に実感しています。不足しがちな血液の確保を図るため、次回も8月に献血を予定しています。

献血にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。今後とも献血へのご協力をよろしくお願いいたします。

近森病院臨床検査部参与 岡田士郎

お知らせ

●第97回地域医療講演会  
「被災地病院の医師としての経験」  
講師 岩手県立大船渡病院循環器科  
科長 遠藤浩司先生  
日時 6月15日(金) 18:00~19:30  
会場 近森病院管理棟3階会議室

●引越し予定  
①管理棟別館 6月末完成、7月引越  
②新館 7月末完成、8月引越し  
・新館2階 手術室移設  
・新館3階 血管撮影室、X線TV室、読影室、輸血検査室、内視鏡センター、生理検査室、脳波・筋電図室、腹部エコー室が移設  
・新館4階 救命救急病棟、CCU、ICU病棟が移設  
③8月中旬より本館解体

Chikamori ★ Kitchen 17

土佐流アボカドごはん

近森病院第二分院  
臨床栄養部管理栄養士  
科長 吉田 妃佐



ビタミン豊富な「土佐流アボカドごはん」

今回はアボカドをつかった料理をご紹介します。アボカドは「森のバター」とも呼ばれるほど脂質を多く含みますが、不飽和脂肪酸のオレイン酸などが主体で、コレステロールを低下させたり、動脈硬化を予防する作用があります。老化防止に役立つビタミンEやビタミンA、Cも多く含んでいます。脂分が少ない魚や肉をおいしく食べやすくする一工夫として活用した「土佐流ヘルシー料理」です。

- 材料(1人分)  
・刺身 お好みとご予算に応じて  
・アボカド 1/4個  
・貝割れ大根 1/5パック  
・鰹節 1/2パック  
・ごはん 茶碗一杯強

- 作り方  
①「炒り醤油」を作る。小鍋に日本酒と梅干を入れ火にかける。沸騰したら火からおろし冷ます。梅干しを取り出し、醤油を加えて混ぜる。  
②貝割れは洗って1cmに切る。  
③アボカドは皮と種を除き、ご飯に混ぜやすい大きさに刻む。



- ④刺身は食べやすい大きさに切り、炒り醤油をかけ冷やしておく。
- ⑤アボカドに炒り醤油を加えて混ぜ、鰹節、ご飯の順で加える。味見をして、炒り醤油で味を整える。
- ⑥器に⑤のご飯を盛り、貝割れ、胡麻、刺身も順に盛りつけて出来上がり、わさびをお好みで。

- 「炒り醤油」  
日本酒 1合  
醤油 1合  
梅干し 1個
- 「薬味」  
胡麻 適量  
わさび 適量

●平成24年4月度県外出張件数 40件  
●延べ人数 78人

●第59回よさこい祭り●  
「ちかもり - 縦横夢人「風」  
三年連続出場

◆  
本祭は8月10日(金)と11日(土)  
!!ご声援をお願いいたします!!

2012年4月の診療数 システム管理室

近森森グループ	
外来患者数	17,079人
新入院患者数	797人
退院患者数	767人
近森病院	
平均在院日数	14.56日
地域医療支援病院紹介率	95.47%
救急車搬入件数	412件
うち入院件数	227件
手術件数	398件
うち手術室実施	257件
→うち全身麻酔件数	145件

# 放射線科と循環器科のパイプ役

『こくじゅん通信』2011年秋号の部門ご紹介ICU欄に濱口師長もスタッフの一員として真ん中に写っている

快適な高層マンション自宅でのくつろぎのひとこまを、無理をいって旦那様に撮影してもらった!

カテーテル室での濱口師長。医師の検査の開始時刻までにコ・メディカルスタッフとその日の流れを確認し、一日が始まる。「全体を通した動きがやっと見えてきた」ある朝のひとこま



好きなことをそれぞれのペースでやり続けて今日に至る。この自由さや気ままさか主婦をぬか味噌臭くさせない秘訣なのだろう。

## 風に吹かれて、のんびりビール…

身体を動かすことが好きだし、ゴルフも好きで夫とよく出かけるし、浜重杯には楽しみに参加する。休みにはDVDで洋画アクションを観るのが趣味といえるかも知れない。が、なんともいってもいちばんの楽しみは、高層マンションのベランダで夫とふたり、風に吹かれてのんびり呑むビールだとか。



## 国循の一年研修後に放射線外来へ復帰

循環器の病気の「最先端のその先」を目指して、心臓と脳の血管両方ともを高度に専門的に扱う国立循環器病研究センター（通称国循）。ここでの一年間の研修を終え、この春から放射線科の外来担当看護師長として復帰したばかりだが、「近森をせっかく外から眺められたのだから、その視点を少しでも出せたら」と、いかにも濱口師長らしい控えめな研修帰りのコメントである。

国循では心臓血管外科手術後の患者さんの術後管理と集中治療を受け持つ「外科系集中治療室（ICU）」に配属され、「最初は略語の使い方ひとつひとつを教えてもらいながらで、アップアップの毎日だった」と振り返る。

## 「学ぶなら今、習うなら今」

近森会勤続二十数年のベテランで、循環器中心の病棟勤務が長かった師長が、きつい研修を終えて復帰した先が、今度は初めての外来で、「またまた新しいことを覚えながらの毎日」になってしまった。が、その新しいことの多い「新鮮さ」に刺激と喜びを感じているふうだ。「わかったふりをするより、学ぶなら今、習うなら今！」が濱口師長の motto なのだ。

「優柔不断だし、前をきって進むタイプではないので、いまのポストは有難いけれど、荷が重い部分もあるんです」とはいいつつ、「放射線科と循環器科の情報の一元化、パイプ役、スタッフのまとめ役、なんでも言いっ放しにしないフォローアップ」など、放射線科外来師長の役割をあげつつ、「これが求められる師長像だと思う」と、苦笑い交じりに少し照れながら話してくれた。



## ちょっと力の抜けた頑張りポーズ

高校進学時、美容師の母親から「資格を持って続けられる仕事を目指すように」と勧められ、文系より理系が好きだったから看護科への進学を決めた。しかし、これは「どちらかといえば消極的動機」だったし、高等看護学校への進学も現場で働き始めてから、「このまま続けるのなら資格が欲しいかも…」と、少々遅めに決断した。

それに比べれば今回の国循行きでは、短期間の決断が迫られたわけだが、改革の多い近森会に長く勤めるうちに即決の習性が芽生えたのかも知れない。むろん、家族の理解も大きかった。とはいえ、濱口師長には家庭臭がないというのか、「えっ結婚してるんですか」と驚かれることもあるようだ。

結局、なにごとにつけ、肩に力が入り過ぎないというのか、「ちょっと力の抜けた頑張りポーズ」が濱口師長の魅力といえるのではないだろうか。

中学校に通う一人息子にはお弁当を準備するし、弘化台で働く夫には普通に食事を作るし家事もする。今回の長期研修ではこの夫と息子が協力し合い、男同士の時間を大事に過ごせるから大丈夫と自信を持てたことが、決意の決め手のひとつになったという。

同じ歳の夫とは、じっくり付き合い二十代後半に結婚した。「折り合いをつけて、お互い好きなことをやり続けよう！」と長い春にケリを付けたそうだが、当初の約束そのままに相互が

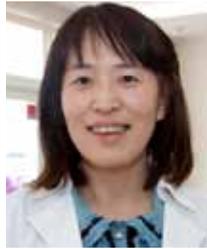
# お日さまクリニック

TEL.088-855-7233 / FAX.855-7221  
高知市北久保 10-16 〒 780-0088

クリニック  
探訪

URL ● <http://ohisama-cl.jp/> / E-mail ● [tsuzura@ohisama-cl.jp](mailto:tsuzura@ohisama-cl.jp)

診療科目 内科、糖尿病内科、リウマチ科、内分泌科、甲状腺、  
感染症内科、リハビリテーション科、肥満外来、禁煙外来



◀院長・葛籙 幸栄 (つづら さちえ) / 日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医、指導医、日本甲状腺学会専門医、日本リウマチ学会専門医

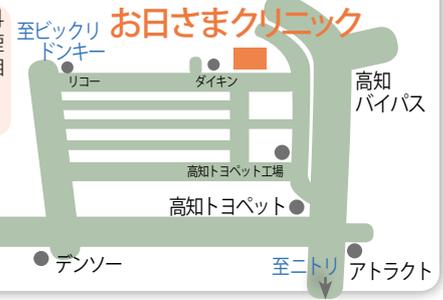
診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
13:30 ~ 18:30	●	●	●	／	●	／

休診日 ● 木、土曜の午後、日曜日  
木、土曜日の午前は 13 時まで

糖尿病、リウマチ、甲状腺をメインに一般内科の診療をしていきたいと思っています。また禁煙外来、肥満外来においては予約制でじっくりと相談にのって進めていきたいと考えています。お気軽にお問い合わせ下さい。



スタッフのみなさんと



## 図書室便り (2012年4月受入分)

- ・プロメテウス解剖学コアアトラス / 坂井建雄 (監訳)
- ・サーベイランスのための CDC ガイドライン NHSN マニュアル (2007 年版) より改訂 4 版 / 小林寛伊 (監訳)
- ・基礎から学ぶ医療感染対策標準予防策からサーベイランスまで改訂第 2 版 / 坂本史衣
- ・チャートでわかる実践 IVUS、OCT & FFR / 大倉宏之 (編集)
- ・カテーテルスタッフのための新血管画像学テキスト / 循環器画像技術研究会 (編集)
- ・世界一わかりやすい。医学統計シンプルスタイル+ / 落合隆志
- ・超高齢者医療の現場から「終の住処」診療所 / 後藤文夫
- 《別冊・増刊号》
- ・岩手県立病院医学雑誌第 51 巻補冊 2011 東日本大震災津波における岩手県立病院の対応 / 岩手県立病院医学会編集委員会 (編集)
- ・別冊医学のあゆみエネルギー代謝転写因子ネットワークと生活習慣病 / 島野仁 (編集)

## 編集室通信

● 昨年に続き、演劇祭 KOCHI2012 参加作品に出演した。昨年 12 月にオープンしたアートゾーン葦工倉庫内の『新・蛸蔵』で初めて公演させていただいた。蔵でのお芝居は客席と舞台が近く、客席の反応がダイレクトに伝わり、一体感を感じることができる。3 回の公演を通じて、のべ 300 人を超える方々にたくさん笑っていただき、とても幸せな 2 日間となった。足を運んで下さった方、お手伝いいただいた方に感謝。(リンダ)

- ・別冊整形外科 No.61 難治性骨折に対する治療 / 星野雄一 (編集)
- ・臨床栄養別冊栄養ケアマネジメントファーストトレーニング NCM シリーズ 2 循環器・腎疾患 / 佐々木 環 (他編集)
- ・画像診断別冊 KEYBOOK シリーズすぐ役立つ救急の CT・MRI / 井田正博 (他編集)
- ・臨床画像 4 月増刊号感染症の画像診断 早期に診断し、治療する / 蓮尾金博 (編集)
- ・関節外科 4 月増刊号研修医のための見逃すと困る整形外科疾患 / 帖佐悦男 (企画・編集)
- ・病理と臨床 Vol.30 臨時増刊号病理解剖マニュアル / 深山正久 (編集)
- ・HEART nursing 2012 年春季増刊病態と術式がわかる疾患別ナースのための心臓大血管手術周術期管理のポイント / 西田博 (監修)
- ・インфекションコントロール 2012 年春季増刊できる ICT はやっている！感染対策すぐ使える最強ツール & らくらく活用術 / 森兼啓太 (編集)
- 《視聴覚資料》
- ・Audio-Visual Journal of JUA Vol.18 No.2 / 日本泌尿器科学会 (企画・監修)